

3. 保健・医療・福祉の充実

いつまでも生き生きと
自分らしい暮らしができるまちに

●いきいき百歳体操推進事業（健康福祉課【介護保険特別会計】）299万7千円

介護予防事業として、いきいき百歳体操などに取り組み、日常生活の維持・向上を図る。

●認知症総合支援事業（健康福祉課【介護保険特別会計】）302万7千円

認知症地域支援推進員を中心に、地域の認知症に対する正しい理解の普及啓発や相談事業を行う。

●高齢者見守り事業（健康福祉課【介護保険特別会計】）250万8千円

高齢者見守り支援とともに、地域住民同士が支え合う「互助」の仕組みを創出する。

●健康増進事業（健康福祉課）746万3千円

特定健康診査とがん検診を同時に実施する。また、鳥取大学地域医療学講座、日野病院と連携し、健康相談や健康教育を行う。がんやメタボなどをはじめとした生活習慣病の早期発見、早期治療、受診率の向上を目指す。

■**拡充** 社会福祉協議会助成事業（健康福祉課）1,163万4千円

生活支援コーディネーターの配置など社会福祉協議会の機能を強化。地域に積極的に出かけ課題などを把握し、支え合いの地域づくりを推進する。

●福祉人材確保事業（健康福祉課）576万円

将来、介護福祉士として町内の介護保険施設などで介護職に従事する人材の養成・確保を目的として奨学金の貸し付けを行う。卒業後、町内に居住し町内の介護保険事業所で5年間働くことなどを条件に奨学金の返還を免除する。

●買い物福祉サービス支援事業（健康福祉課・企画政策課）604万8千円

高齢者が安心して生活できるよう、移動販売事業者に見守り活動を委託する。

●生活交通確保対策事業（企画政策課）500万円

タクシー以外に交通機関を利用することが困難な人を対象に、タクシー運賃補助を行い、病院や買い物など生活に必要な交通手段を確保する。今年度は、バス路線がない地域への対策を検討する予定。

利用者のうち人工透析患者のタクシー助成券の利用が年間48枚を超える場合、最大96枚まで追加交付する。

2. 子育て・教育

家族が安心して
子育てできるまち
将来を担う子どもたちが
のびのびと成長できるまちに

●子育て世代包括支援センター（ネウボラ）（健康福祉課）156万5千円

妊娠期から子育て期にわたる総合的な相談支援と各種の支援サービスを行う。

① **新** ファミリーサポートセンター事業（2万9千円）

家族が安心して子育てできる環境づくり、子育て支援機能の充実を図る。

② 育児パッケージプレゼント事業（33万6千円）

新生児家族に対して、産後すぐに役立つ生活用品をプレゼント

③ すくすく子育て支援事業（120万円）

1～3歳の誕生日に子育て支援金3万円を支給

■ **新** 産後ケア事業（健康福祉課）27万8千円

医療機関などへの宿泊や日帰りでの母子のケアや、授乳・育児相談を行い、産後の育児不安の軽減を図る。

●家庭子育て支援事業（健康福祉課）291万円

生後6カ月から3歳に達する児童が保育所に入所せず、家庭内で子育てしている世帯に給付金を支給し、家庭での子育てを支援する。

支給額：1人につき月額1～3万円

●病児・病後児保育事業（教育委員会）323万1千円

病気がかかっていたり、病気の回復期で集団保育が困難な児童を専用の保育室で預かることで、子育てと仕事の両立を図る。

●日野高校魅力向上事業（企画政策課・教育委員会）1,151万5千円

コーディネーターを2人配置し、高校、日野郡3町、鳥取県が連携し、地域や小中学校との連携を強化。日野高校の魅力向上を図る。また、日野高校双葉寮の運営を支援する。

●保小中一貫教育（教育委員会）2,533万3千円

スクールソーシャルワーカーの設置やコミュニティ・スクールの推進体制の構築などを通し、0歳から15歳までの15年間を見通した一貫教育を推進する。今年度は、新たにICT支援員を配置し、児童の学習意欲と学力向上を図る。



1. まちづくり・移住・定住

あらゆる分野で新たなまちづくりを推進
そして、移住定住・空き家対策がさらにパワーアップ!

■ **新** 新創生戦略策定事業（企画政策課）45万円

平成31年度末で計画期間が終了する「きらり日野町創生戦略」を改訂し、新たな戦略を策定。行政と地域が町の将来像を共有しながら、まちづくりを進めていく。

■ **新** 町制60周年記念事業（総務課）283万1千円

日野町制施行60周年を記念し、式典やイベントなどを開催する。

●移住定住・空き家対策（企画政策課）2,053万1千円

① 移住定住を促進するため空き家対策を行い、受け入れ態勢を整備する。そのほか、移住定住コーディネーターを配置し、移住や定住希望者への支援やフォローアップを行うことで、移住定住者を増やし人口減少をできるだけ緩やかなものにする。

▶ 移住定住促進住宅整備費補助金（500万円）

▶ 空き家家財道具等処分費補助金（200万円）

▶ 移住者通勤費支援補助金（300万円）

▶ 空き家改修費の概算見積委託業務（10万円）

② **新** 空き家借り上げ・活用事業（410万円）

町が空き家を借り上げ、必要な改修を行った後に移住者向けの住宅として提供。移住者の受け皿、住宅の確保を図る。

③ お試し住宅の運営（112万7千円）

町内の空き家を活用。短期間滞在のほか、交流スペースとしても貸し出し、日野町を具体的な移住先として検討してもらう。

④ あゆ奨学金（日野高校入学等支援および小中学生教育支援）96万円

移住世帯に小中学生、日野高校に入学や転入する生徒がいる場合、または、孫ターンで日野高校や小中学校に通う場合に教育費の一部を支援する。

⑤ 婚活サポート事業（50万円）

婚活イベントを実施し、若者世代に出会いの場を提供することで、未婚・晩婚化の軽減を図る。

●若者定住住宅建設（建設水道課）434万1千円

単身者向け若者定住住宅を建設し、雇用や住宅の確保を図る。今年度は住宅建設のための測量設計等委託料を計上

●「ふるさと住民票」制度運営事業（企画政策課）213万4千円

町出身者などに「ふるさと住民」として登録してもらい、「ふるさと住民カード」の発行や「ふるさと定期便」の発送などを行う。今年度は、登録者を対象としたモニターツアーのほか、ふるさと住民票制度を導入している四国4市町村と共同事業の開催などを検討

●奥日野たたら文化の里づくり推進事業（産業振興課）434万4千円

「たたら文化」と「星空」をテーマに日野町の魅力の磨き上げを図る。

●ケーブルテレビ番組作成事業（総務課）2,718万3千円

おなじみの「チャンネルひの」をはじめ、議会放送、文字放送、町制60周年記念番組などを放送。より地域に親しまれるコミュニティチャンネルを目指す。

テーマ

主な事業

日野町
今年の

「まちのしごと」

住んでよかったと思える、
みんなが誇りを持てるまちに



SAKODA
カラーが随所に
コレは見逃せない!!

町では、今年度もさまざまな事業を計画しています。主なものを紹介します。

■ **新**：新規事業